

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿南教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人の成長段階やペースを尊重した関りを事業所単位で意識している点	各活動について、ご本人のその時のご様子、ペース、成長段階に合わせた関りを心がけています	ご利用者様が「楽しい」「やりたい」と思えるような活動を企画してご提案していきます
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースが少なく、刺激が困難さにつながる場合に支援の選択肢が限られてしまう点	お子さんが刺激で活動に集中できなくなってしまう、支援での経験体験が得られる危害が減ってしまう。	刺激のコントロールの必要が出た場合、増室等の長期的な選択肢の確保にこだわらず、パーティションの追加設置等の選択肢も具体的に考える。
2			
3			

公表 からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいこども松本寿南教室	公表日	2025年3月25日	
		利用児童数	36	回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17		1		・教室が2階だったり、送り迎えをして頂いているので様子がわかりにくいです ・限られたスペースの中で、活動の切り替えができる工夫をしていただけてるなと思います。	参観日成長事例発表会等を開催する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16		0		・配置など工夫されていると思います。 ・職員の人数のことは正直なところ分かりませんが、大変な我が子にも対応していただけて感謝しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12		4		・2階が教室なのでバリアフリーでは無いのかなと思いました。 ・階段が怖い	現段階の安全対策でよしとせず、年度ごとのお子さんの特性に応じて対応を変えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16		0		教室が2階だったり、送り迎えをして頂いているので様子がわかりにくいです	参観日成長事例発表会等を開催する。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18		0		こどもが他の子やスタッフとどう関わっているのか、どんな様子で過ごしているのか見学出来る機会を設けていただける上嬉しい	参観日成長事例発表会等を開催する。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18		0		こどもが他の子やスタッフとどう関わっているのか、どんな様子で過ごしているのか見学出来る機会を設けていただける上嬉しい	参観日成長事例発表会等を開催する。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18		0		毎月、茶話会を開いて家族支援にも力を入れていただけているなと思います。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		12			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14		4			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18		0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11		4		茶話会などあり保護者交流もありいいなと思ってます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	先月から通い始めたばかりですが、子供の支援を丁寧に行っていただき、活動の様子もしっかり共有してくださるので安心して利用させて頂いています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	毎回楽しく通わせてもらってます。個別で色々させてもらったり、嬉しそうに作品を持って帰ってきてます。先生方もお迎えの時にその日の様子をよく見て教えてくれて嬉しいです。いつもありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	いつもありがとうございます。	

公表 における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本寿南教室				公表日	2025/3/25	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	こどもの特性に沿った対応等、情報共有が工夫されている。	教室へ行くために階段を上るので、装具等つけている利用者さんは上りにくい様子。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	GM等で「〇〇ですがどうですか？」など意見が出しやすいように工夫されている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	支援終了後の振り返りは出来ていないが、翌日に振り返りやどんな支援を行っていたらなどの話し合いを行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0			

4	4
0	0

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		支援での出来事等ご家族と共有するが、利用者さんの様子をもっと詳しく共有できれば良い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		SNSの発信は行っているが、行事予定等の発信は行っていないので発信できると良い。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	利用者さんと関わる前にその方の特性等職員間で共有されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿北教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的な安心安全でご本人の内側から行動や発信を促すとともに、音楽リトミック活動/体操サーキット活動など特定の経験体験を生み出しやすい環境活動づくりに配慮している点	安心安全が保障された環境で、お子さんの内側から行動や発信を促せるような活動づくり	年度ごとのお子さんの様子に合わせて活動を変えていく
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普段日常の様子が知りづらい	短時間での療育活動に絞っているため、特定の環境での様子を私たちは知ることができます。しかしながら、お子さんの経験する多様な場面の様子の情報がなく、活動の課題設定が偏る懸念がある。	保護者様や関係機関様からの情報収集を丁寧に行い、今の発達にちょうどいいタイミングの経験や体験を作っていけるように活動を作っていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども松本寿北教室

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 11

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3		1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると	3		1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います	3		1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	3		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	4		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	3		1			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援	3		1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3		1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	2		1			
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこ	3		1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	3		1			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました	3		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	3		1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状	2		2			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3		1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	2		2			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	2	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	3	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	2	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ	2	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	3	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡	3	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本寿北教室		公表日		2025年3月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	1	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	1		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿北教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生を主な対象者として、活動設定行っている点	活動バリエーションの幅を持たせる。例：体も大きく体力もある年齢なので、て広い場所で危険がない様しっかり体を動かせるように体育館を借りる。	年齢や活動段階に合わせて、課題や活動場所を工夫していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースが少ない。	個別のスペースが少ないことにより、刺激が入りすぎてお子さんが困ることがある。	活動や課題の意図に合わせて必要なら刺激を調整すべく、事業所を見直し空きスペースの確保や物品の配置の検討をし、スペースの活用を検討していきたい。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいこども松本寿北教室	公表日	2025年3月25日	
		利用児童数	43	回収数 12

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12		0		たくさんの経験をさせてもらってます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12		0		地域の他の子どもとの交流はわかりませんが特に必要性は感じていないので不満もないです	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		0		長期休みの時のお出かけや、祭日イベントはとても楽しく子どもも楽しく参加しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12		0			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		0		支援のあとにはその日の出来事なども丁寧にお話してくださりありがたいです	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11		1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		8			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		0		いつも丁寧に見て頂き感謝しています。子供も楽しく通っていて本当にありがたいです。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		0			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12		0			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		3				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本寿北教室				公表日	2025/3/25
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	保護者からの問い合わせに対して、利用者としてしっかりと話しをしたりと対応が出来ている。研修もしっかりと行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	当日の送迎後や翌日の朝会などで支援に関してや支援者間で共有している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		外部との交流
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本松原教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様一人一人に合わせた個別支援計画の作成、実施	個別支援GMで、計画案の内容をスタッフで確認し合い、より良いものにしよう意識が来ている。	作成後、取り組む中での改善点などを話し合い、より良い支援方法に繋げることができるようにする。
2	通所が楽しみとなるような様々なイベント実施	長期休みや祝日の中で室内外で出来る様々なイベントを打ち出すことができています。 また、電車活動やお買い物体験などを通して社会体験やSSTを養う機会となっている。	ご利用者様が様々なことを経験していく中で興味の幅が広がったり、出来ることが増えるよう、より一層楽しめる活動を企画してご提案していきます。
3	安心して過ごせる環境づくり	ご利用者様に分かりやすいよう、写真、絵カード、イラスト等の視覚ツールで活動中のお約束事やお部屋のルールをお伝えできている。	視覚支援の中でもご利用者様個々で理解しやすいツールは変わってくるため、一人一人にあったツールを用いながら支援をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がり	児童クラブなどを含める地域の方と交流をする機会がない。	イベントなどの催しで地域の方とコミュニケーションをとる機会を作っていく必要がある。
2	個別対応ができる職員の育成	小集団の中で、個別に対応が必要なご利用者様の支援ができる職員に限られてしまう状況がある。	ご利用者様の特性やニーズをしっかりと把握したうえで支援に当たり、ロープレを通して実際の支援方法に落としこめるようにしていく。
3	非常時等の対応	研修を通して、マニュアル確認をする時間が十分に取れていない	読み合わせの時間/回数を増やす ロープレを行う

公表からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいこども松本松原教室	公表日	2025年3月1日	
		利用児童数	56	回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14		0		視覚からも入りやすいように、カード等を使って指示していただいております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14		0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14		0		綺麗にしていると思います。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		8			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12		2			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14		0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11		3			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	本人から避難訓練をしたという話を聞いたことがないので23・24の質問は分かりません。	避難訓練実施後の広報等を見直したいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	子供が喜びそうなイベントがたくさんあり、いつも楽しく通わせていただいております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	すぐ取り入れていただいています！	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		

公表 における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本松原教室		公表日		2025/3/25	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団での活動に参加するのが難しい時、個別で休める空間作りが出来て居るので安心できる環境が整っていると思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用定員に対する職員の人数においては、利用者が少ない場合は事務に入ったり、他教室にヘルプを出すなどで配置の調整をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		第三者による外部評価の実施は把握できていない為、こちらで実施が必要であれば取り組んでいきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	4つの基本行動については、普段の室内活動であったり、祝日での外出活動で取り組むことが出来ている。	移行支援」及び「地域支援・地域連携」については計画書でどう触れればいいのかわからず、出来ていない部分があるため改善が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	関係機関との連携はしっかり取ることが出来ている。放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する機会はないのでいいえ 回答を止めた	地域の児童クラブなどの交流はないので、今後機会を作ることが出来たらとおもう。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	定期的に保護者面談を行い情報の共有を行ったり、茶話会で保護者様同士の交流の機会を設けることが出来ている。 また、インスタなどのSNSを活用して利用者さんの	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	虐待や身体拘束の事例は今のところないが、必要な研修を受けて対応できるようにしている。 アレルギーなどは表を作ってすぐに見える位置に貼るなど工夫している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	3		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども伊那御園教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/25		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、放課後等デイサービスと連携した多機能型事業所であり、一貫性のある支援体制の構築ができる。	保育所等訪問支援で得た情報を放課後等デイサービスでの支援に汎化し、よりお子さんにあった継続的な成長のサポートができるようにしている。	担当者育成を行い、サービス提供を増回できるようにしていく。
2	関係性の構築方法を知っている職員が在籍していること。	年齢層の近い、幅広い知識を持った職員がその子の個性に合わせて会話を提供できるようになっています。分からない事は自己流で話すのではなく、同僚等に相談、情報を得てから再発信できるようになっている。	ご利用される方とのアセスメントを通して、何を知りたくて、何を解決したいのか…具体的に聞き取りしながら更に情報提供を行っていきたい。
3	学校の先生と連携が取れている。	支援を開始する前、終わった後に必ず面談の機会を入れ、先生が情報を提供しやすい、また入手しやすい環境づくりに努めている。 支援者の考えだけで支援するのではなく、学校の先生にも言いにくい事を事業所側で聞き取りをし、支援につなげている。	支援会議などで本人が話した事を本人の許可を経て、更に共有を図れば本人の抱える問題について解決ができると思う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係先との兼ね合いもあり、訪問のアポイントが取りづらい。	学校とのアポイントの連絡が取りづらい、こまめな連絡調整が難しい時がある。	年間計画を使い訪問予定者を早めに選定、アポイントの方法での選択肢を増やしたり、取りやすい時間帯の把握をスタッフ間で共有を行う。また、ビジネスチャット等の利用を検討する。
2	入れる職員が限られている。	法改正により支援に介入できる職員が減っている。	圏域内にある同法人内事業所とも連携を図りながら、支援がより多く入れる方法を模索していく。
3	ご希望にそえない場面が出てきてしまう。	学習を中心とした支援内容ではないため、なかなか勉強面での指導が入ってしまうと難しい場面が出てきている。	授業と訪問支援の時間のメリハリがつけられるように更に学校と支援会議を通して連携をとる必要がある。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらいこども伊那御園教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	第三者との関わりを意識した活動プログラムが提供できている。	平日、休日ともに毎月平均2名のボランティア講師、地域講師の方をお招きして活動プログラムを提供することができた。 上伊那圏域でも放課後等デイサービスの中で、製品販売、メダカの飼育販売を行うことができ外部の方と自然と関わりが持てる活動提供が1年を通して確立すること	来年度も毎月来所していただけるようボランティアの方に継続したご支援をお願いしております。 販売先の拡大、飼育場の拡大を進める中で、ご利用される皆様が主体的に進められ、なおかつ事業所職員以外の方との自然なコミュニケーションが取れる活動を提供してまいります。
2	個別支援計画の作成において、御利用者様の意向も聞き取り支援内容に記載ができています。	個別支援計画を作成する際に、御利用者様にも聞き取りを行い「やりたいこと」、「がんばりたいこと」等を聞き取りすることができた。その内容を個別支援計画に反映し、ご家庭、学校、相談支援専門員に共有することができ、共通の認識で支援を提供することができた。	個別支援計画の聞き取りの際に御利用者様より聞き取りした内容を引き続きご家族にも共有させていただきます。 その中で出た「やってみたい活動」、「挑戦したいこと」等を活動にも反映することで、成功体験の積み上げが個別支援計画上、活動上でも把握できる仕組みを考案
3	就労先への見学会を定期開催することによって、就労のイメージ作り、またそれに沿った活動プログラムの提供ができています。	中高生が主に通う事業所として休校日、長期休みにおいて卒後の就労先への見学会、講演会を実施することができた。 また御園教室の卒業生に定期的に来所していただき、現在のお仕事や余暇の過ごし方についてお話しいただく場面も作り、卒後のイメージ作りができる活動提供ができ	長期休み等において引き続き、就労先への見学会を予定してまいります。 主に卒業生の就労先に向うことで、放課後等デイサービスを卒後、どのような過ごし方を皆さん送っているか具体的にイメージできる事業所見学会を考えてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化	既存のカーテンや備品、玄関先など使用において老朽化している部分が目立っている。 また裏山の木も災害で倒れてくる可能性がある。	職員で月4回3S活動の整備点検日を設けます。 大家さんに相談しながら経年劣化している部分、破損している部分は修繕を進めていきます。 施設内のカーテン、カーテンレール等、新年度に入る前に見直しをして交換を進めてまいります。
2	生活範囲が狭い	御利用者様のほとんどが中高生となっている現在、体格等も考えると全員がそろってしまうと事業所内のスペースが狭く感じる部分がある。	できる限り、外部施設へのお出かけ、体育館等を活用することで余暇スペースの確保を心がけていきます。 施設内部の unnecessary な物を片付ける事で生活スペースの確保を進めてまいります。
3	曜日によって室内活動がメインになってしまう。 (主に金曜日)	寄宿舎をご利用の皆様は金曜日が主な利用曜日となっている中、創作活動のため室内での活動日が多くなってしまふ。	教室内で相談をし、月に1回のペースで外出活動、イベント活動を提供してまいります。 活動については翌月の物を月頭に配布しているため、ご家族にも分かりやすい形で周知してまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども伊那御園教室

公表日 2025年3月25日

利用児童数

30

回収数

11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8		3			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	9		2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	9		2		建物入り口などジメジメしていて清潔感がない 耐震など心配なところもあります。 施設が老朽化してきている。	ご意見いただいた部分につきましては、職員が 定期清掃、整頓することで改善を図ってまいり ます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	11		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	11		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	11		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	11		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	11		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	11		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	7		4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	11		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	11		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	11		0			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	11		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	11		0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10		0			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	6		4				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		みらいこども伊那御園教室			公表日		2025年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・毎年変わる利用者さんの様子にあわせて活動室の模様替えを行い、過ごしやすい空間や切り替えを促しやすい環境設定を行っています。	体の大きなご利用者さんが多いので、定員いっぱい来ると手狭になってしまいます。緑のマットを廃棄すればもう少し空間が広がって良いかと思えます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		外のコンクリートのスロープ、雪が降るとかなり滑ります。車いすのご利用者さんの利用日はとても危険です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		長く支援している教室なので清潔な環境については実は改善が必要となってきているように感じる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	圏域全体で参加したい研修などの希望をしっかりとれるように工夫していきたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		保護者との会合があってもいいのではないかと		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		個別支援計画などにのっとり支援を進めているところではあるが、長く勤めていて？慣れてきて来るところから自己流支援になってしまうかの懸念はある。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		圏域ごと行われている社会協議会などへの 参加ができていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	3	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		ご家族、地域の広い範囲で協力体制で支援でき るよう日々考えることはあってもどのようなようにつ なげていかなど流れが止まってしまう。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社みらい福祉会上郷黒田教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供や保護者のニーズに応じて柔軟な支援が行えている。	職員やご家庭からの意見やアイデアを吸い上げ、多職種で検討・対応ができています。	地域機関や所属している学校・幼保と連携しながら移行を視野に入れて切れ目のない支援を行う。
2	定期的な面談や相談の場を設けている。	相談支援が引継ぎや面談の機会を数多く確保していることや送迎時の引継ぎ、LINEを用いて手軽に話を聞ける体制が作れている。	1対1で話す場のみでなく、家族同士の交流や専門家の意見を聞ける場を設けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園や保育園、その他地域との連携が不足している。	地域の幼稚園、保育園でも制度の理解が得られていない・知られていないこともあり、見学・体験といった対応がなされないまま、サービスが開始してしまう場面がある。	保育所等訪問や事業所間での様子の共有を行い、相互に実態が確認できるよう透明性のある運営を行う。また、地域に児童福祉のサービスを周知・広報していく。
2	保護者会やきょうだいで会といった、家族支援が乏しい。	保護者や家族に対する研修や相互に関われる場が不足している。また、茶話会等も企画しているが、日時の兼ね合いで働いている家族に対して時間を確保することが難しい側面もある。	年間・月間でスケジュールを設定し、日を決めて参加しやすくしていく。家族や周囲へアンケートや聞き取りを行い、実態に即した研修やテーマを決めた会を行っていく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども飯田上郷黒田教室

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 1

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7		0			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると	5		1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います	7		0			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	7		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	7		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	7		0			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援	7		0			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	6		0			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこ	3		4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	7		0			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました	7		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	6		0			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状	7		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7		0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6		1			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	3		3				

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	7	0			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	7	0			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	6	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ	5	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	6	0			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される	7	0			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡	7	0			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	0			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども飯田上郷黒田教室		公表日		2025年3月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	3		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	21		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の実態と将来に合わせた支援を行えている。また、支援を行うに足る職員体制が整備されている。	児童に合わせて実施する職員を選定し、安心感を持ってサービスを受けることができるよう努めている。また、実施職員を含め、事業所内でケースにおける次回以降の動きや共有事項の協議を行っている。	多様なケースに対応できるよう、訪問職員の育成を行っていく。
2	個別支援計画に則った支援を行い、訪問先にも配慮した支援が提供できている。	訪問先の環境や職員配置、困り感もアセスメントし、当該状況・環境で十分に可能な提案を行っている。	契約時から円滑に運営が行えるよう、訪問先の実態を調査・聞き取りする場を設ける。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定の施設での対応でないサービスのため、安全計画や緊急時の対応について、明確な計画がなされていない。	事業所と訪問先の安全計画が異なるケースが多く、共有する機会もないため明確な基準を設けることができていない。	サービス導入時や年度切り替わりの際に、訪問先の安全計画や避難計画を参照し、協議を行う。
2	訪問先とご家庭との連携を促し、必要な助言や申し出を行う頻度が少ない。	支援会議や関係者会議等の場での発言が主になっているため、頻度が少ない。	会議の開催を主導して進めていく。また、SNSやショートメッセージといったコミュニケーションツールを用いて、共有のハードルを下げていく。
3			

公表	保護者からの事業所評価の集計結果
----	------------------

事業所名	みらいこども飯田上郷黒田教室
------	----------------

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 9

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4		0			
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4		0			
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6		0			
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6		0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと	6		0			
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	6		0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	6		0			
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の	5		0			
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育	5		0			
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6		0			
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われ	6		0			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明	6		0			
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま	6		0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ	4		0			
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達	6		0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6		0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6		0			
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	5		0			
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	6		0			

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援	4		0			
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容につ	6		0			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなさ	4		0			
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情	5		0			
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5		0			
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できる	5		0			
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される	5		0			
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6		0			
	28	事業所の支援に満足していますか。	6		0			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

みらいこども飯田上郷黒田教室

公表日

令和7年3月25日

利用児童
数

9

回収数

2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2		0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2		0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2		0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2		0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	2		0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいこども飯田上郷黒田教室			公表日	2025年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	2		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	1		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2	1	訪問の振り返りは記載にて確認している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	1		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	1		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3	0			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	1		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1		
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	1		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	安全計画がわからない	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども飯田上郷黒田教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	休祝日に季節の行事や誕生日会を行っている。	児童の特性を踏まえつつ、季節感の意識や外出・課外活動を通じた社会体験を導入している。	地域のリソースを活用したり近隣施設と交流を行い、相互に関われる取り組みを増やしていく。
2	利用定員に対して適切なスペースが確保できている。	対象児童の知的機能や社会性、課題の理解度に応じて活動の選択ができるようになっている。また、飯沼教室・鼎上山教室と連携して、発達の度合いに応じた移行措置が行えている。	自傷他害やパニックのケースに対応したり、当人と職員で面談が行える機密性の高いスペースがあることが望ましい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化が進行しており、改修が必要な点が多い。また、使用していないスペースの管理が実施できていない。	保育園の居抜きを使用していることから建築の年数が経っている。	児童の利用箇所に絞った改修と空きスペースを活用し、定期的な管理を行う。また、事業所内で完結の難しい点は行政に補助が行えないか確認・打診を行う。
2	児童クラブや児童館の交流といった、地域の児童と交流する機会がない。	地域機関との連携が取れる場面がない。	地域機関と相互に活動の紹介や支援者の行き来を増やし、実態の把握と交流の機会を創出する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども飯田上郷黒田教室

公表日 2025年3月1日

利用児童数

23

回収数

16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		0		横の使用していないプールのしげみが	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16		0		職員の方は大変苦労されて工夫されていると思いますが 建物の老朽化が目立ちます。改	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると	13		2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います	15		1			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	16		0		問11は分かりません。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	15		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	16		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	16		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	16		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	14		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する	7		6			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	16		0		問18は分かりません。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなさ	15		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	14		1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状	16		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14		2			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16		0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	8		5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	16	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	16	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	14	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ	12	0		23.24.25はわからないので空白にさせ
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	11	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される	13	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡	13	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0		誕生日会や、運動会など他の事業所さ
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0		

公表における自己評価結果

事業所名		みらいこども飯田上郷黒田教室			公表日		2025/3/25	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		職員配置は過多になっており場面や過介助になっている面がある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2		一人で落ち着いてクールダウンできる個室がないので欲しいです。 個室の設置があると良いと感じます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	3				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2		自立課題の評価を行い、課題の改良やレベルアップなどを皆で検討していきたい		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		イベントで買い物に行った事はありますが、地域交流の機会の提供が薄いと思います。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	1				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	2	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		家族支援が必要だと思われるケースはあるものの、複雑でなかなか思うように進んでいないのが現状だと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		地域との交流が欲しいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		地域行事への参加をもっと増やして、地域に認知していただくことも重要だと思う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1		隣に高齢者の施設があるので、交流が出来ればよいと思います

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	1	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	虐待に関する研修回数を増やしてほしい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	安全計画というものが、わからない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども伊那坂下教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援環境を構造化できるように意識している点	以下にお子さんの中にある行動や気付きを促し、経験や体験を引き出すか意識して課題設定を行っている	お子さんごとに、ご本人のやりたい気持ちやできる体の動きを引き出せるような課題設定を引き続き行う
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースが少なく、刺激が困難さにつながる場合に支援の選択肢が限られてしまう点	お子さんが刺激で活動に集中できなくなってしまう、支援での経験体験が得られる機会が減ってしまう。	刺激のコントロールの必要が出た場合、増室等の長期的な選択肢の確保にこだわらず、パーティションの追加設置等の選択肢も具体的に考える
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		みらいこども伊那坂下教室		公表日		2025年3月25日			
		利用児童数		26		回収数		11	
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8		2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11		0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		0	部屋が一つしかなくパーティションで仕切っている点を改善した方が良い（壁を考慮して、可動式のパーティション等を作って部屋数を増やす等）	年度ごとに刺激のコントロールの状況を考え、可動式のパーティション等を検討していきたいと思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10		1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10		1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11		0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11		0				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10		1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		0				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		5				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11		0	おたより等で活動が分かりやすく紹介されていると思います。職員の方の説明も丁寧です。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11		0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		1				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10		1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11		0				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		4				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11		0				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0		休みの日にお買い物イベントとか体験イベントがあり経験させてもらってありがたいです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども伊那坂下教室				公表日	2025/3/25
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2		問3、車椅子使用などもある中で、施設前駐車場が急斜面なので危険性は感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4		机上課題等の行いたい利用者の方がいる場合は、パーテーションなどで対応しているが聴覚・視覚的に遮断できているわけではないため、集中の維持が難しく注意散漫となりやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		社内研修にて会社の方針やチームビルドに繋がるような内容は取り上げて頂いていますが、障害者支援に関する知識を身に付ける機会が少ないように感じます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	4		保護者等の意向および意見のアンケートを見たことがないのでよくわからない。見てもいいのかわからないため。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・振り返りは翌日に実施している。	・フォーマルなアセスメントツールがない。インフォーマルなアセスメントが中心。アセスメントツールがあった方がいいと思うが、そのための研修も必要と思われる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・学校とは会議等でも連携は取っていると思うが、医療機関等はなかなか連携が少ないのではないかと思う。本来は、必要であるが。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・スーパーバイズに関しては少ないと思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		30に関して、学校を卒業する利用者の対応をしたことがないためわかりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		36に関して見たことが無いのでわかりません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・地域、地区との交流は少ないと思われる。開所日などの兼ね合いもあるが。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・BCPに関して、内容および情報が不完全なため細部を含めた認識はできていないと思われる。法制度的にもBCPというものがあることは認識している。火災、地震等の避難訓練は実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども伊那中央教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別療育の提供	個別で療育を行うことにより、個々のご利用者様のニーズや状況に合わせたプログラムを提供することが出来ている	専門職と連携しながらプログラムの内容をより充実させていく
2	様々な力を身に着けられる時間割での提供	「机上課題→読み聞かせ→自由遊び(体遊びや余暇活動)→昼食」というプログラムの提供により、多様な場面で必要となる力を養うことが出来るよう意識的に行っている。	それぞれの場面においてご利用者様の困り感が何なのか、そこにどのようにアプローチしていくのかを、作業療法士・保育士・児童指導員など多様な支援員と情報共有しながらチームでの支援を提供していく。
3	母児通所型によりご利用者様の様子を親御さんと一緒に確認できること	母子通所により、親御さんと一緒にご利用者様の状況を見ながら支援に当たれるので、その時に困っていることや状況を一緒に確認しやすい。お子様の成長などもその場でお伝えすることが出来る。	ご利用者様が通われている他関係機関との情報共有をリハビリノートや支援会議などを通じて行ってきたが、見学などによりさらに連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の経験値が浅い	経験値の浅い支援員も多く、すべての支援において同じ質での提供がまだできていない部分がある	より経験のある支援員がアドバイスなどをしながら一緒に支援に入り、経験が少ない支援員に対しても支援方法などをお伝えしていくことで支援員の育成を行って行く
2	集団での困りごとの把握がしづらい	個別での療育を提供していると、個別にはできていても集団ではできないことなど、集団の中に居るからこそその困り感を把握しづらい部分がある	関係機関との情報共有をより連携して行い、様子を把握していく
3			

公表からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども伊那中央教室

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 1

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1				
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	1					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表における自己評価結果

事業所名	みらいこども伊那中央教室		公表日		2025年3月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	3	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)が実施されているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	2	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	0	2		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズに応じた支援を行っているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	2	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援計画の作成と実施」が反映されているか。	2	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	2	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	2	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必	2	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推	3	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間	3	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と	0	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を	1	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ	0	1		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてス	0	2		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の	1	1			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状	3	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	0	2			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明	2	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の	3	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	3	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に	2	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	1	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運	0	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル	2	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に	3	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認	3	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく	2	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	2	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、	1	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につ	3	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対	3	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織	2	0			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども伊那中央教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化された支援環境	玩具や備品をあえて手の届く場所に置かず、それらを写真などで備品玩具リストを作成してご利用者さんの見えるところに提示してある。ご利用者さんが自由時間等に玩具備品等を使いたい場合は大人に欲しい物を伝えて(指さして)頂き提供させて頂くという表出コミュニケーションの機会にもさせて頂いている。	ご利用者様が見通しを持ってより主体的に活動されたり余暇時間を過ごして下さるような更なる支援環境作り
2	様々な経験や資格を持った方々による支援体制	保育士、作業療法士、児童指導員など様々な経験や資格を持った従業者がいる中で多様な視点を基に、ご本人主体の支援体制に努めています	法人内の他事業所へ見学や交流で行くなど、事業所内に留まらず新たな視点を取り入れる機会を定期的につけています
3	ご本人の成長段階やペースを尊重した関り	学習・自立課題・集団活動・余暇活動などスケジュール全てにおいて、ご本人のその時のご様子、ペース、成長段階に合わせた関りを心がけています	ご利用者様が「楽しい」「やりたい」と思えるような活動を企画してご提案していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車スペースの確保	事業所がある建物の隣には広い駐車スペースが確保出来ているが建物に横付け出来るスペースはあるものの限られている	状況によってご家族がお迎えにいらした際にお車に乗るまでの見守りやお見送りなど
2	ご利用者様皆さんに合った活動のご提供	ご利用者様のご年齢の幅が事業所開設時と比較すると広がってきている 通われている学校もそれぞれでご利用者様も多様になっている	学校が休みで1日ご利用になる際は、皆様に同じ活動を提供するのではなく3つ程度のグループ活動を一部導入することで、よりお一人お一人に適した内容になるよう心掛けています
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいこども伊那中央教室	公表日	2025年3月25日	
		利用児童数	24	回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7		0		食事をする部屋、勉強をする部屋、遊ぶ部屋と子どもにもわかりやすく区切られていていいと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5		2		入所依頼、活動状況を確認する機会もないため、環境含めどのように活動しているかは正直判らないスタッフの過所など重なり、思ったような人員確保が難しく、大変そう	授業参観日等の開催を検討します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7		0		実際の支援の状況を見たことが無いので、環境、支援員配置の現状がわかりません。	授業参観日等の開催を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7		0			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7		0		先に記載した通り、提供されている支援がプログラム通りかどうか直接確認する術がない。お任せである。年一回でも保護者が普段の様子をみられる機会があると良い	授業参観日等の開催を検討します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7		0		IIIのお答えに関してなんですが、わからないので回答はいえにします。お友達によって行われているのかなとは思いますが、支援として。	授業参観日等の開催を検討します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		3			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8		0			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6		2				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	利用中の有事の際、子供の送迎などどのようにするのか、計画され、必要であれば保護者を交えた訓練も必要かと思う	緊急時訓練等に保護者様にご協力いただく点があるか検討する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
みらいこども伊那中央教室		2025/3/23			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	構造化は出来ているが、きちんとした静養室、カームダウンスペースがあるとさらに良いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	問3において：中央教室は2階での生活となっている中、階段は長く急なものであると思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	災害で避難をするという時、1階に降りられる階段が1か所しかない（緊急用の外階段もあるけれど、ある場所が一緒。）ことに不安を覚えます。また、降りるのに時間を要する利用者もいる中、滑り台みたいに滑って降りれるものがあるといいのになと感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	研修へは力を入れているが、支援の質向上に向けた研修（障害の理解など）はまだ少ないように感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	問9は、詳細が良く分からないが、「ハイ」としました
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	問8において：正規スタッフの面談は実施して下さっていますが、ヘルパーさんやドライバーさんの面談というのではない。そのような中で、送迎とかと一緒にすると、ふと悩みを言葉にされるヘルパーさん・ドライバーさんの姿があります。送迎での子どもたちの危険行為があるとお話もあり（トランクルームや助手席に勝手に移動する、シートベルトをしてくれない、同乗する子ども同士でのトラブル等）、聞き取りをすることがすごく重要だと思ふ案件もありました。きちんとした時間をつくらないといういったことを変に遠慮して報告してくれないという姿も感じるため、ヘルパーやドライバーさんとお話ができる時間がつくられたら良いのになと思いました。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	支援開始前に職員間での打ち合わせをしっかりと行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	一部、未対応の為にイメージで「ハイ」としています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	問16と24 よく分かりません（質問内容の理解が…）
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		保護者との連絡を丁寧に行うよう心掛けている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		問28において：これまでも何度か受け渡しをお願いをしているが、先生が出てこない日があったまにあるとう小学校がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1		問35において：茶話会くらいだと思う。 実際参加者の顔ぶれは毎回同じような感じで…仕事を忙しくしている保護者の方の参加はまだまだだと思う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2		通信を定期的に発行できている。地域との関わりは少ない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2		一部、間接的な対応は「ハイ」となっています

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	問48において：新スタッフと再度確認する機会をしてないと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	問49において：アレルギーの子は把握して除去した食材を提供しているが、医師の指示書とは？
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども飯田県上山教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の丁寧な職員間共有を強みと考えています。	お子さん一人ひとりに寄り添った支援を意識的に行っています。お子さんの特性や、自分自身で自覚している願いに寄り添おうという姿勢が欠け、支援を一時的に行っても支援の成果は上がりづらいと私たちは考え取り組んでいます。	セキュリティに配慮したうえで、デジタルツール活用を推進しより、新しい情報やお子さんの変化に早く丁寧に情報共有できるようにする。
2	職員間の連携が強みです。	職員間で共有した情報や方針を、保護者様の期待や要望に応えられるように活用することを目指して取り組みを行っています。	職員ごとに対応や情報量の差が出ないように、ポイントを絞って情報共有できるようにチェックリスト等の活用を進める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが活動に対して狭い時がある。	活動ごとにどういう動きや体験をしたいのか整理があいまいである点。	施設の状況にできるだけ影響されないように、活動ごとの目的を整理して活動意図にかなう活動が実施できるようにするとともに、公共施設(公園や体育館等)も活用し、経験体験のバリエーションと質を確保していく
2			
3			

	公表 保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----------------------

事業所名	みらいこども飯田県上山教室	公表日	2025年3月25日	
		利用児童数	33	回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		1		地震災害時などがとても不安な場所である	引き続き法令に基づいた事業所設置を行うとともに、事業所ごとの立地にあった避難訓練等を行う。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14		0		トイレ	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14		0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12		2			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13		1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8		5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11		3			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14		0			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8		5				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	いいえのところはわからないため	事業参観日等の設定を行い、活動を見てもらう機会を作る
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	通所を毎日楽しみにしています。いつもありがとうございます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	子どもが、学校・放課後デイに行き渋りがあるが、支援会議に参加してくれたり、タイムケアを提案してくれたり、色々かになろうとしてくれており感謝しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいこども飯田鼎上山教室				公表日	2025/3/25
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		自由時間に体を動かせるスペース（飯沼のような部屋）があるといいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0		毎日の掃除で清潔感を保っていたりこぼの部屋で個別で過ごせる部屋もあるのでいいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	2	2		活動スペースが狭いと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者が安心して過ごせる環境になっているか。	2	2		部屋数の関係で静養室と図書室が同じ空間だったり、利用者個別対応の部屋が来客で使用できない場合があり、確保が難しいと感じます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	3	1		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）が実施されているか。	3	1		研修機会は多く設けられていると思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	3	1		研修等の機会やGの話し合いの場が多く設けられているので積極的に参加したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	4	0		
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		簡単な到達目標とその為に必ずしていくこと、みたいな事も月一くらいでご本人様と相談して決めて行くようにすると、成長にむけての意識が向く気がします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	4	0		活動前の打ち合わせ、振り返り等、職員間の話し合いはよく出来ていると思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理指針に基づき作成しているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップしているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づき作成しているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議	4	0		児童館、児童クラブ等の他児童との交流はなかなか機会がない。31・35については自分は参加したことはありません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校	3	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	3	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	4	0		は自分のGで直接開催していないため、このような機会を設けている事業所があればアドバイスをお聞きたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ	1	3	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること(4	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	4	0	いるが、定着するように定期的に行いたい。54については自傷の予防で対象となるのでは、という児童がいるが事前に親御
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備	4	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	4	0	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対	4	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	4	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安	3	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につい	4	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	4	0	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	4	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども南箕輪教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、放課後等デイサービスと連携した多機能型事業所であり、一貫性のある支援体制の構築ができる。	保育所等訪問支援で得た情報を放課後等デイサービスでの支援に汎化し、よりお子さんにあった継続的な成長のサポートができるようにしている。	訪問した担当職員以外の知識がスキルが支援に生かせるように、取り組みを進める。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係先との兼ね合いもあり、訪問のアポイントが取りづらい。	学校とのアポイントの連絡が取りづらい、日ごろからの情報共有が取れる場合とそうでない場合とばらつきがある。	年間計画を使い訪問予定者を早めに選定、アポイントの方法での選択肢を増やしたり、取りやすい時間帯の把握をスタッフ間で共有を行う。ビジネスチャット等の利用検討をする。
2	訪問できる支援者が、ご利用者様の特性や対応スキルにより限られることがある。	人材育成を前もって行う。	人材育成を行うとともに、相談支援事業所等と連携して、ご利用者様に支援の機会損失が起きづらいようにする。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども南箕輪教室

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 5

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。		1				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。		1				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。		1				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。		1				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。		1				
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。		1			
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。			1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
みらいこども南箕輪教室		2025年3月25日				
		利用児童数			回収数	
		5			1	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。		1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		1			
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月25日				
みらいこども南箕輪教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	0	1		訪問支援員の育成
	2	利用希望者に対して、職員の数配置は適切であるか。	0	1		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	1	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	0	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	0	1		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	1	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	0	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	1	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	1	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	1	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	1	0			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0		
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を軸に、体の使い方や体力向上を支援するとともに、個々のペースに合わせ、小さな成功体験を重視している点。	お子様への効果的なサービス向上のため、スタッフ間でミーティングや練習を重ね、安全な補助とポイント確認を徹底し、連携を図っております。	集団活動も大切にしながらも、専門的支援実施加算等個別性のある療育内容も検討していきたいと思っております。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースが少なく、刺激が困難さにつながる場合に支援の選択肢が限られてしまう点	刺激で困ってしまい、支援での経験体験が得られる危険が減ってしまう。	刺激のコントロールの必要が出た場合、増室等の長期的な選択肢の確保にこだわらず、パーティション設置等の選択肢も具体的に考える
2			
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	みらいこども南箕輪教室	公表日	2025年3月25日	
		利用児童数	35	回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		0		角があるものに衝撃材のようなものを貼っていたり、写真や絵カードが使われていたりして分かりやすく、ありがたいなあと感じています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15		1		入口の階段が危ないと思われます。	年度ごとのお子さんの得意さ苦手さなども含めて安全点検をし、対応できる点があれば対応します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14		2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16		0			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15		1		様々な活動内容を考えてくださっていて、とても感謝しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15		0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15		1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16		0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15		1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15		1			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9		7			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15		1		授業参観を設定していただいて普段の様子が変わり有り難かったです。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		1		自身が積極的に関わることで機会を得ているが、消極的だった場合、ただ預けているだけになってしまうと思う。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15		1		祝日イベントや、茶話会などがあり楽しく参加させていただいています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14		2			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15		1				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4		訓練については知らないだけでされて
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	3		怪我をした時に、親への連絡は迅速にしていたと思います。…が、職員が見ているにもかかわらず、何度も何人も手を出されている子供にもう少し目を掛けていただきたいです。(手を出している時にすぐ止めるとか。)
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3		ケガにつながる状況は避けるように支援するとともに、場面ごとの課題設定も工夫して段階的に力をつけていただけるような支援を組んでいきたいと思っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1		短時間であるのに日々の内容をいろいろ考えてくださり、祝日イベントや長期休み中のお出かけ内容には頭が下がる思いです。ただ子供が家の方が好きというだけです。申し訳ないです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3		子供の性格を理解してくださっていると感じています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2		実際怪我をして、すぐ連絡をいただきました。またご連絡下さい。と仰っていらしたので、その後医者から帰宅後に事業所がまだ電気がついていたので、電話連絡致しましたが、出ていただけませんでした。メールでもご連絡致しましたが返事も頂けず、金曜日でしたので、月曜日に返信が来ました。もう少し緊張をもって対応頂きたいです。
					この度はお怪我を負わせてしまい申し訳ありませんでした。こちらから情報提供をお願いした以上、連絡に注意を払うとともに、対応が難しい場合は事前にお伝えすべきだと思います。再発防止に努めたいと思います。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいこども南箕輪教室				公表日	2025/3/125
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1		活動室で運動遊びとおもちゃで遊ぶスペースの分け方をもう少し改善できると良いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		・活動をする場と学習をする場がしっかりと別れている ・静養スペースの正しい使い方を子供たちに伝えていく必要がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		業務改善に繋げられる機会があり、改善されている。今後も継続していく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・みらい人研修など学ぶ機会が設けられている ・親御さんの声を聞く機会があればいいと感じる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		月21は翌日に振り返しをしている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		個々の利用者にアセスメントを行いニーズに対して必要な支援を行えるための話し合いをし、計画を立てている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		・昨日の振り返りや朝会などで話し合う場が設けられている ・伝達ミスがあったため、白紙にしっかりと伝えるように徹底したい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	家族会（茶話会）や参観日を行うことで情報共有、状態を確認しながら必要なことを支援している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・下校時刻が学校と親御さんの情報で違う時があった ・口頭での送迎変更はすぐメモするなど、しっかりと確認を行いたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	通信の発行、苦情に対する迅速な対応がされている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・通信やSNSを活用し始めている

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		止、アレルギー等の学習、共有、振り返りを行い安全な支援を行えるように意識している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		・介護者研修という関わる全ての職員で学ぶ場がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、放課後等デイサービスと連携した多機能型事業所であり、一貫性のある支援体制の構築ができる。	保育所等訪問支援で得た情報を放課後等デイサービスでの支援に汎化し、よりお子さんにあった継続的な成長のサポートができるようにしている。	デジタルツールを使った共有が多いが、共有の時間の確保を検討していきたい。
2	多職種のスタッフが在籍しており、保育所等訪問支援での様々な視点での情報吸い上げができる。	当事業所は専門指導員や児童指導員、保育士、児童発達管理責任者と、多岐にわたるスタッフが在籍しています。なるべく訪問するスタッフも固定せず、様々なスタッフが訪問できるようにしています。	職員のそれぞれの強みを活かし、訪問スタッフの選定や訪問頻度も検討していきたい。
3	学校や関係先との連携強化を密に行うことができる。	保育所等訪問支援を通じた訪問先や先生方とのコミュニケーションや意見交換・フィードバックを行っている。	それぞれの学校や先生方の時間の取りやすい時間帯を確認し、事業所での共有を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係先との兼ね合いもあり、訪問のアポイントが取りづらい。	学校とのアポイントの連絡が取りづらい、不在のことが多い。	年間計画を使い訪問予定者を早めに選定、アポイントの方法での選択肢を増やしたり、取りやすい時間帯の把握をスタッフ間で共有を行う。
2			
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども飯田上郷飯沼教室

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 10

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4		1			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4		1			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7		0			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5		2			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと	7		1			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	7		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	8		0			
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の	6		0			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育	6		0			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6		0			
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われ	6		0			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明	7		1			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま	5		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ	5		0			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達	7		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8		0			
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	6		0			
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	6		0			

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援	7	0			
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容につ	6	0			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなさ	8	0			
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情	7	0			
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0			
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できる	6	0			
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される	7	0			
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0			
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0			

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2025年3月25日
みらいこども飯田上郷飯沼教室	利用児童数	10 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3		0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3		0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3		0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3		0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	3		0	Kさんとは、外部機関との連携全般についても相談させていただいています。方向性を見いだせて、ありがとうございます。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月25日				
事業所名		みらいこども飯田上郷飯沼教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が 参画しているか。	4	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、そ の内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげて いるか。	5	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催 する機会が確保されているか。	4	0		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや 課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、 子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮 した検討が行われているか。	5	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪 問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている か。	5	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセス メントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用す る等により確認しているか。	3	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問 支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている か。	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を 行っているか。	4	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げてい るか。	5	0			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0		
訪問先施設	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	1		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども飯田上郷飯沼教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育プログラムを中心にサービス提供を行っています。体の使い方や体力向上、また個々のペースに合わせた調整をしながら小さな成功体験が積み重ねられるようになっています。 ニーズのあるご家庭には水曜日に隔週で音楽療育を提供してお子さんに合わせた様々なサービスを提供しており	お子さんの効果的なサービス向上に向けて、スタッフ間でミーティングの検討や練習をおこなったり、怪我がないように補助やポイントを確認をし、スタッフ間で連携を図っております。	集団活動も大切にしながらも、個性のある療育内容も検討していきたいと思います。
2	祝日や長期休みなどは普段体験できない前向きな経験作りができるイベントを実施しています。こどもの楽しいと思う気持ちと、体験したい、挑戦してみたいと思えるようなイベントを実施しています。	企画では子供たちが楽しんでもらえる、将来に少しでもつながるようなイベントの考案をスタッフで話し合っています。また楽しいだけでなく、安心に、安全に実施できる視点も意識しながら企画を考えています。	地域との交流やお子さんと保護者様との交流ができるようなことも今後企画していきたいと思います。
3	児童一人ひとりのニーズに合わせた個別支援計画の作成と、定期的な見直しを行っています。	定期的にスタッフみんなで会議をおこない、支援計画での意見を出し合う時間を設け、お子さん一人ひとりに合わせた内容になるようになっています。	お子さんからのアセスメントも丁寧に取れるような時間も考えていきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースが少ない。	お子さんの課題行動やパニック、気持ちの不安さの際にクールダウンできたり気持ちを落ち着かせたり、刺激がはいりずらく話が聞けるスペースの確保が少ない。	事業所を見直し空きスペースの確保や物品の配置の検討をし、スペースの活用を検討していきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流する機会がない。	地域の児童の交流は外部に行った際などにできる時もあるが、児童クラブとの交流や連携する機会が少ない。	児童クラブとの関係や連携作りを検討していくため、圏域の部会での交流やコミュニケーション作りから始めてみたい。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいこども飯田上郷飯沼教室	公表日	2025年3月1日	
		利用児童数	31	回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12		2		トイレの改修を希望(子どもが怖がるため)	職員による点検をおこない、必要があれば対応をいたします。(安全面、照明、壁紙等)
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11		2		工夫している点:運動スペースが広く、壁の凹凸が少ない。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		1		入所当初の記憶で回答しているため、その後参観等しているわけではないので、正直な所、わかりません。という回答ばかりです。	授業参観日等の開催を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10		1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		1		工夫している点:その子の能力に応じて運動や療育を実施してくれている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14		0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13		1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		6			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13		0		些細な事でもこちらが困った時は、職員さんが連携をとって即共有・対応して下さいます。その中心として動いて下さっている。熊谷さんや大嶋さんには本当に信頼を起すことができ、	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14		0		丁寧に寄り添い接して下さる様子が 安心してお願いできます。いつもありがとうございます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		3			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14		0			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		2				

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	事業所満足度は2択でなく5段階や10段階などの評価にしていただけると回答しやすいです	私たちの手違いで今回、はい、いいえのみのアンケートとなっておりました。次回以降修正します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		みらいこども飯田上郷飯沼教室			公表日		2025/3/1	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		外でお話するなど工夫はしていますが、ご利用者が一人でクールダウンできるような個別の空間が欲しいです。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		管理者が研修や出張で利用者さんに対して支援者が少ないことがあるので安全に支援するうえで改善して頂きたいです。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		個室の設置があると良いと感じます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2		視覚的にわかりやすいものが多いと思う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2		研修や意見を言う場は設けられていると思います。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		日々の支援を連携して行えていると思う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		利用者家族と情報の共有はきちんとできているため、家族支援プログラムを行っている必要があると思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		地域との交流が薄い。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		介護者研修会や、グループミーティング等で共有出来ている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2			